

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点等
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	・訓練指導室は36㎡あり、活動は指導員の四角もなく行えています。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1	0	・基準よりも指導員を多く配置しています。イベントやおでかけの場合には増員して配置しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0	・駐車場からガレージや玄関、室内まで全てにスロープが付いており、車椅子を利用して問題ありません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	0	0	・PDCAサイクルを意識し定期的に会議を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2	0	・保護者との会話の中の意見やアンケート結果などを活かせるよう活動や行事に取り入れています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	・毎月発行の通信に添付したりホームページでも公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	2	・外部評価の実施を検討しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1	0	・外部研修や職場内研修、田川地区の勉強会に参加し知識の向上を図っています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	・見学や体験時にニーズを把握したり、会議等での相談支援員の計画に沿って原案を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	0	・事業所のアセスメントツールを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	・職員会議で月案を作成し日々のプログラムの作成を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	・季節の行事や子どもの意見等を踏まえ活動内容を工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1	0	・平日と休日では提供時間が違うので時間帯に合わせて考えています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	・生活の目標はそれぞれ異なっているのでそれぞれ個別で指導を行い、集団での活動も計画に含めています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	・サービス提供前には職員体制、活動内容・食事やおやつ、送迎等の打ち合わせを必ず行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	・提供終了後は子どもの状況や職員の対応を確認し、改善点や各家庭の連絡事項等を共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1	0	・ケース記録や業務日誌等の記録をとることを徹底しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	・支援会議と中間評価を行い、計画の見直しを行っています。
関係機関 や保護者 との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	6	0	・活動の組み合わせの中でも自己選択する場面を設けたりしています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	・児童発達管理責任者、児童指導員が主に参加しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	0	・学校からは週間時間割などを頂き、事業所からはホームページより通信・ブログを先生等に閲覧してもらい情報の共有をしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	7	0	・現在医療的ケアを必要とする子はいませんが、受け入れの際には体制の整備を行います。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	7	0	・受け入れの際には、事前に相談支援員からの情報や直接連絡を行い情報提供を頂いています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点等
関係機関や保護者との連携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	4	0	・卒業する対象者は、障害福祉サービス事業所等への移行時に当事業所での情報提供を行います。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	3	0	・田川地区の自立支援協議会の主催する研修等に参加しています。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	6	0	・昨年までは交流することはコロナ過により難しい状況にありましたが、今後は交流が実施できるようにしていきます。
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	6	2	0	・要請により参加できるように取り組んでいきます。(田川地区自立支援センター)
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1	0	・送迎時や日々の連絡帳により子どもの状況を共有しています。定期的、又はご要望があれば面談も行っています。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	4	0	・毎月発行の通信の一部で子どもへの対応方法をコラム等で保護者等へ提案しています。
保護者へ説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1	0	・契約時に運営規程、支援の内容、利用者負担、支払の方法など説明しています。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	・保護者からの相談に随時対応し、助言を行っています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	4	4	・保護者会を行っていませんが、今後は保護者一同を招くことを考えています。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	0	・今現在まで苦情は上がっていません。あれば苦情マニュアルに基づいて対応します。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	・毎月、行事活動予定表や、通信を発行、ブログでも活動や子どもの様子を伝えるようにしています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	・個人情報取り扱い同意書で同意を得て、それに基づいて使用しています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	・保護者には連絡帳や面談で、子どもには実物や絵カード等を使用し、意思疎通を図はかっています。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	6	・今後検討していきます。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	0	・利用契約時に、事業所の体制としてマニュアルの説明を行っています。職員に対しても同様に説明しています。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	・3ヶ月に1回のペースで非常災害計画に沿って避難訓練を行っています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	0	・職場内研修は研修計画に沿って行っています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	7	0	・現在まで身体拘束が必要と思われる利用者は利用していません。必要と思われる対象者が利用する場合は、身体拘束禁止規定に沿って決定しています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2	0	・保護者を通じ医師からの指示に基づき対応しています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1	0	・危険な事例があった場合は職員会議で共有し注意するよう促します。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点等
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	0	・訓練指導室は36㎡あり、活動は指導員の四角もなく行えています。
	②	職員の配置数は適切であるか	9	0	0	・基準よりも指導員を多く配置しています。イベントやおでかけの場合には増員して配置しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	0	・駐車場からガレージや玄関、室内まで全てにスロープが付いており、車椅子を利用して問題ありません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	2	0	・休暇等により全員出席は難しいですが、出勤人数が多い日に合わせて支援会議や話し合いを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1	0	・保護者からの意見やアンケート結果などを活かせるよう活動や行事に取り入れています。
	⑥	この自己評価の結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	3	0	・毎月発行の通信に添付したりホームページでも公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	1	・外部評価の実施を検討しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	・職場内研修や他事業所の勉強会に参加し知識の向上を図っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0	0	・お子様の様子や要望の聞き取りを行っています。それに基づいて児童発達支援計画を作成します。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	0	・アセスメントシートを使い、その年齢にあった発達ができるか、現在の状況を把握するために使用しています。
	⑪	児童発達支援計画には、ガイドラインの「提供すべき支援」の「発達・家族・地域」で示す支援内容から必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	9	0	0	・アセスメントを行い、支援に必要な項目を選択しています。また、どのように支援を行っていくのか具体的な内容を記載しています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	1	0	・職員間で計画の内容を共有して支援を行っています。見直し等も協議し更新します。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	・職員会議で月案を作成し日々のプログラムの作成を行っています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0	・季節の行事や子どもの意見等を踏まえ活動内容を工夫しています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	2	0	・生活の目標はそれぞれ異なっているのでそれぞれ個別で指導を行い、集団での活動も計画に含めています。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0	・サービス提供前には職員体制、活動内容・食事やおやつ、送迎等の打ち合わせを必ず行っています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	4	0	・提供終了後は子どもの状況や職員の対応を確認し、改善点や各家庭の連絡事項等を共有しています。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	2	0	・一人一人のケース記録をとり、活動や体調変化等の記録を取っています。
関係機関や保護者との連携	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1	0	・支援会議と中間評価を行い、計画の見直しの必要性を判断しています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	0	・主に児童発達支援管理責任者が出席しますが、他にも詳しい児童指導員が参加することもあります。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	1	0	・関係機関と連携を取り合い、情報を共有して現在の発達の状況に合わせた支援ができるように努めています。
	㉒	医療的ケアが必要、又は重症心身障害児等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	1	0	・現在対象者はいません。
	㉓	医療的ケアが必要、又は重症心身障害児を受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	4	0	・現在医療的ケアを必要とする子はいませんが、受け入れの際には体制の整備を行います。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点等
関係機関や保護者との連携	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	8	0	・受け入れの際には、事前に相談支援員からの情報や直接連絡を行い情報提供を頂いています。
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	6	0	・現在対象者はいませんが、過去には情報提供を行い移行していました。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	3	0	・田川地区の自立支援協議会の主催する研修等に参加しています。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	8	1	・昨年までは交流することはコロナ過により難しい状況にありましたが、今後は交流が実施できるようにしていきます。
	㉘	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	3	0	・要請により参加できるように取り組んでいきます。（田川地区自立支援センター）
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	3	0	・送迎時や日々の連絡帳により子どもの状況を共有しています。定期的、又はご要望があれば面談も行っています。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	8	0	・毎月発行の通信の一部で子どもへの対応方法をコラム等で保護者等へ提案しています。
保護者へ説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	・利用前にも発生する料金等について十分に説明を行っています。
	㉜	ガイドラインの「提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら内容の説明を行い、保護者から計画の同意を得ているか	8	1	0	・発達に関しての提供すべき支援を意識しながら個別支援計画や提供内容も家庭や地域支援も含まれるようにしています。
	㉝	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1	0	・保護者からの相談に随時対応し、助言を行っています。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	7	・保護者会を行っていませんが、今後は保護者一同を招くことを考えています。
	㉟	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	0	・今現在まで苦情は上がっていませんが、苦情マニュアルに基づいて対応します。
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	2	0	毎月、行事活動予定表や、通信を発行、ブログでも活動や子どもの様子を伝えています。
	㊲	個人情報に十分注意しているか	8	1	0	・個人情報取り扱い同意書で同意を得て、それに基づいて使用させてもらっています。
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1	0	・保護者には連絡帳や面談で、子どもには実物や絵カード等を使用し、意思疎通を図っています。
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	6	3	・今後検討していきます。
非常時等の対応	㊵	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知し、訓練を行っているか	8	1	0	・利用契約を行う場合、事業所の体制としてマニュアルの説明を行います。
	㊶	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	・3ヶ月に1回のペースで非常災害計画に沿って避難訓練を行っています。
	㊷	事前に、予防接種やてんかん発作等の状況を確認しているか	7	2	0	・利用開始前の面談時に確認を行っています。情報は職員間で共有するよう努めています。
	㊸	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	0	・保護者を通じ医師からの指示に基づき対応しています。
	㊹	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	2	0	・危険な事例があった場合は職員会議で共有し注意するよう促します。
	㊺	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	・虐待防止について研修も行いますが、意識しながら支援ができるよう取り組んでいます。
	㊻	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	7	0	・現在まで身体拘束が必要と思われる利用者は利用していません。必要と思われる対象者が利用する場合は、身体拘束禁止規定に沿って決定しています。